

日本技術士会 千葉県支部会報 第 13 号

日本技術士会千葉県支部 広報委員会

【巻頭言】千葉県支部 会報再開に当たって」



何時も公益社団法人日本技術士会 千葉県支部の活動にご理解とご支援を頂き有難うございます。コロナパンデミックで中断していた会報ですが、広報委員会の尽力で再開する事となりました。お気づきの点がありましたらご指摘頂けると有難く、宜しく願い申し上げます。

さて、第12号から4年以上の年月が経ち、支部の体制、活動も大きく変わっております。今回はこの内容について簡単にご紹介したいと思います。

先ず体制ですが、以前は活動推進委員会の下に展開していた 6 つのチームはそれぞれ委員会として独立しました。尚、技術相談チームは企業支援委員会の中の小委員会としました。これに伴い活動推進委員会は解消し支部役員会の下に 8 つの委員会を擁する体制となっています。体制の詳細は千葉県支部のホームページをご覧ください。

ZOOM 導入で、活動手法が大きく進歩しています。従来は全て対面で活動していましたが、コロナパンデミック対応として、支部では急遽 ZOOM を導入し、講演会や委員会等に適用しました。この効果は大きく、これまで参加できなかった遠隔地や、業務多忙な会員も千葉まで来ることなくイベントに参加できるようになりました。最近ではほぼ全てのイベントで、対面と ZOOM を併用した所謂ハイブリット方式を採用しています。

公益社団法人日本技術士会 千葉県支部の目的は、千葉県支部所属会員へのサービスと地域への貢献をすることと考えています。支部所属各委員会はこの目的を達成するため積極的な活動を実施しています。例えば、会員サービスの面で、CPD 講演会を毎月開催していますし、事務所も環境を大きく改善しています。また、高校生に技術に興味を持ってもらうべく、出前授業を 35 回/年実施するなど積極的に活動しています。そのほかの各委員会でも地道に活動を推進していますので、支部のホームページやパンフレットなどをご覧くださいと思います。

このように千葉県支部では積極的な活動を展開しています。今後とも変わらぬご支援をいただきたく、宜しく願い申し上げます。

千葉県支部 支部長 熊田成人

* 千葉県支部ホームページ: https://www.engineer.or.jp/c_shibu/chiba/

コロナ ビフォーアフター

～コロナ禍ビフォーアフターの技術士業務の「変遷」①～沼畑和喜（電気電子）

（リモートにより関係性は薄いですが、テレミーティングはむしろ全国規模）

皆様の努力下、労働安全・衛生コンサルタントの資格取得していただき労働災害を防ぎ、社会貢献もお願いいたします。

千葉支部印西市におります電気電子の沼畑（2015年入会 64才）と申します。当方技術士会グループで登録労働安全衛生コンサルタントグループ（コンサルタント会ではございません。）に所属しており、10年前から労働安全衛生コンサルタントの受験指導の活動を行っています。

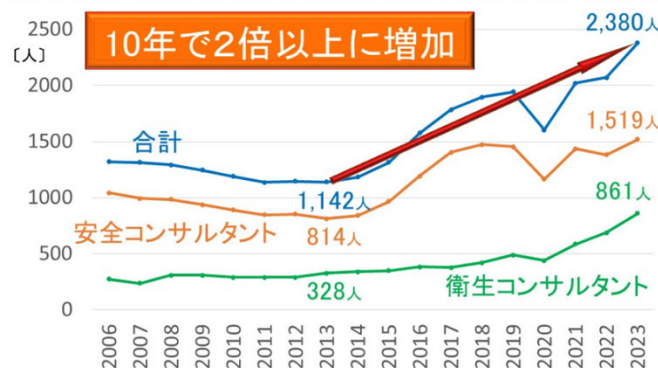
おりしも、労働衛生コンサルタント育成するプロジェクト、令和元年から立ち上げグループ内の労働安全コンサルタントの方及び技術士の方に向けまして、衛生コンサルタントの試験を筆記試験から勉強会と称して、当時は品川の貸し会議室を利用して、関東近辺の技術士の方も召集し7月8月9月と午後1時から勉強会をして開催しておりました。当時は16時に勉強会自体は終わり、その後懇親会行っておりました。勉強会の趣旨は筆記試験対策、特に局所排気計算に力点を置いてはいるものの、皆さんもご存知のように勉強会として集まることの有意義な事は、勉強会よりもその後の懇親会で皆さんがどれだけ工夫しながら学習していることの情報交換及び共有、懇親会にて学習における自分の状況、さらにはどのような学習方法をしていけば突破できるのかを、対面で顔を見ながら意見交換をすることが重要です。

皆さん技術士ではあるので、ポリシーとして自分の専門分野を主張される事は、皆さん自身が存じ上げており、その主張がなければ誰も技術士にはなっていないかと思えます。

コロナ禍前の令和元年10月に実施された筆記試験の合格発表が12月にあり、その後、口述試験対策を行いました。その当時は国内ではコロナ禍問題（3蜜）は始まっておらず、口述試験対策はメールでのやりとりで行い、1月末の東京国際フォーラムでの口述試験に臨みました。結果11名のうち、5名筆記合格のうち、3名の労働衛生コンサルタント合格者を算出することができました。発表は3月20日なので、皆さんご存知のようにコロナの緊急事態宣言の関係から残念ながら「合格者の集い」はできませんでした。

コロナ禍の真ただ中である令和2年も、衛生コンサルタントの育成の資格者育成のプロジェクトが続き、その時に勉強会をオンラインで試み、Zoomで開催していきました。ただし、オンラインなので、当然パソコン、スマホがないと参加

労働安全衛生コンサルタント試験（筆記試験）受験申請者の推移



※ 本図は、筆記試験全免除を除く受験申請者数であり、実際の筆記試験受験者数は欠席者の分だけ少なくなります。

資料：試験協会NEWSより

できません。直接の勉強会は時間的な制約で品川に集まらないとだめでしたが、オンラインの場合は全国各地から参加が可能で、当時は秋田から九州の方から参加がございました。確かに直接顔を見て話さないと、受講者の方がどれだけ理解をしているのかはモニタ越しには把握しづらい欠点がありますが、全国各地、ともすると海外でもつながります。それがオンラインの利点です。(先日も出身高専のある青森市で、直飲みクラス会とリアルに現地集合できない全国の同級生を Zoom(iPad) でつなぎました。)

安全の口述試験対策においても、コロナ禍前は東京駅の貸し会議室で1度限りの個人面談でした。しかし zoom の場合は何回でも模擬口述試験ができます。コロナ禍によるオンライン会議の浸透が、勉強会の機会を増やすことが可能になったと思います。しかしながら、令和2年以降の労働衛生コンサルタント試験の合格者は減少傾向です。これは、労働安全/衛生コンサルタントの資格が注目されて受験者も増加していることから、合格率が減少傾向にあるためですが、今後も当グループでは労働衛生コンサルタント育成プロジェクトを続けて労働安全コンサルタント/労働衛生コンサルタント試験の合格者を増やしていきたいと考えています。

(受験者推移グラフは、柳川先生HPより引用)

(次号へ続く)

私の趣味

～旧五街道をてくてく歩いて～北村 昌文(建設・総合技術監理)

定年近くになり、どんな趣味が好ましいかと考えました。健康や教養に良いこと、お金がかからないことはもとより、より多くの時間を費やせることなどが決め手です。そこ

	名称	ルート	距離 (km) ※1)			
			旧街道	現在ルート (参考)		差
1	東海道	日本橋～京都三条大橋	513	456	高速道路	57
2	中山道	日本橋～草津宿	511	529	一般道	-18
3	日光街道	日本橋～日光坊中	147	160	一般道	-13
4	奥州街道	宇都宮宿～厩石 (津軽半島)	707	651	高速道路	56
5	甲州街道	日本橋～下諏訪宿	209	200	高速道路	9
総 合 計			2,087	1,996	—	

※1) いくつかの情報から得たもので参考程度としてください

で、旧五街道をてくてく歩いてみよう、満 58 歳の時に日本橋から甲州に向かって第一歩を踏みだしてから約 10 年後に完歩しました。もちろん、何回にも分けてですが、旧街道上では全長歩き通しました。旧五街道をすべて足すと 2,000 km を超えるそうです。



旧街道歩きの醍醐味とは何か、3 つ述べます。一つ目は、車や電車では味わえない歩き目線で見えないものと出会えることです。宿場町の風情、一里塚跡、その他街道沿いの歴史的価値のある史跡など

ふと足を止めてしまいます。二つ目は、見知らぬ土地での空気を吸うことです。普通の観光では訪れない場所に泊まるとか、畑仕事をしているおばあちゃんへの声掛けも楽しかったです。居酒屋では地の食材と地酒を嗜みながら、地元の人々との語らい(コロナ禍では自粛しましたが)はまた格別です。三つめは、仲間との出会いです。旧街道を歩いていると同じような旅人に会い、中



には兵(つわもの)もいました。一番は、9日間で旧中山道踏破を目指しほとんど走っている人です。

その他の楽しみといえば、絶景との出会いです。一番、富士山を眺めた旧東海道の薩埵(さった)峠ではないでしょうか。宿場町の風情や松並木なども目を楽しませてくれました。一方、苦労したことと言えば、一番は峠越えでした。旧東海道の箱根越え、

旧中山道の碓氷峠や和田峠、旧甲州道中の笹子峠などは一筋縄ではいきません。二番目は、場所によっては公共交通機関や宿泊施設はもちろんのこと、コンビニや商店が無い区間が続くところです。旧中山道の和田峠約 22 kmと大井宿～御嶽宿約 31 kmの区間は、相当気合を入れて通り過ぎなければなりませんでした。昔の人は旧東海道 513 kmを 14～15 日(1 日平均約 35 km)を、草履やわらじで歩いたそうで驚きです。



ぜひ、皆さんも健康のために歩いてみませんか。まずは、日帰りから一泊二日程度の旅をお勧めします。1日に歩く距離は 20～30 kmに設定し、30 kmを超えると少ししんどくなります。医者や薬にお金を使いよりも「靴」に使ってみましょう。病気知らずの体になるかもしれません。

～バイクツーリングの紹介～丹波 守(電気電子)



私の趣味はバイクのツーリングです。グループよりもソロで行くことが多いです。私が心がけていることは次の３点です。

１．自分はバイクの運転が下手であるという自覚のもとに最新の注意を払う。私は車間のすり抜けをしたことが一度もなく、どんなに渋滞していてもクルマの後ろに並んでいます。

２．なるべく高速道路を使わず、下道を通して風景を見ること。自然のにおい(肥料、野焼きのにおいなど)を感じることができ、「ここまで来た!」と実感できます。また、節約にもなります。

３．天候が悪化する予報があるときは無理せず臨機応変に予定を変更すること。特に夏場は天気が急変することがあるので、旅先では頻繁にスマホで雨雲の動きを確認するようにしています。

春と秋には房総の海の幸を食べに行ったり、九十九里沿いの温泉宿でくつろいだりしています。また、山梨の道志の道を通して御殿場にもよく行きます。特に４月は桜を見ながら地ビールをいただくのが毎年の楽しみです。



広報委員会からのお知らせ

○県支部からの案内が届かない方は広報委員会までご連絡を

千葉県支部では CPD 講演会の案内をはじめ、会員向けの種々な案内を同報メールにて配信しています。

支部から各種案内の同報メールが届かない方、メールアドレスを変更する(した)方は、お手数ですが広報委員会メールアドレス(chiba © engineer.or.jp、©を@に変えて送付下さい)までご連絡下さい。

また、技術士会 HP の会員ページにて、「本人情報変更申請」の「案内メール区分」を

「当会からの案内メールを受信する」になっているか改めて確認下さい。

○支部会員皆様からの会報原稿を随時募集致してます！

千葉県支部では会員の皆様からの原稿を随時募集しています。

日頃の活動紹介、ご自身の趣味紹介等々、どんどんお送りください。

○一緒に広報委員会で活動して頂けるメンバーを随時募集致してます！
広報委員会では一緒に広報活動に取り組んで頂ける会員を募集しています。

我こそは！と思われましたら、是非、chiba@engineer.or.jp までご連絡下さい(◎を@に変えて送付下さい。下記 QR コードからもアクセス可能)。

※支部宛メールの QR コード



※支部 HP の QR コード



編集人 日本技術士会千葉県支部

広報委員会

発行人 広報委員長 小林 創

支部長 熊田成人

発行所 〒260-0013

千葉市中央区中央 2-7-10 シャンボール千葉中央 2 階 206 号

TEL : 043-301-2032 , FAX : 043-301-2031

URL: https://www.engineer.or.jp/c_shibu/chiba/

E-mail: chiba@engineer.or.jp(◎を@に変えて送付下さい)

